

蒲生干潟周辺の塩分濃度 61

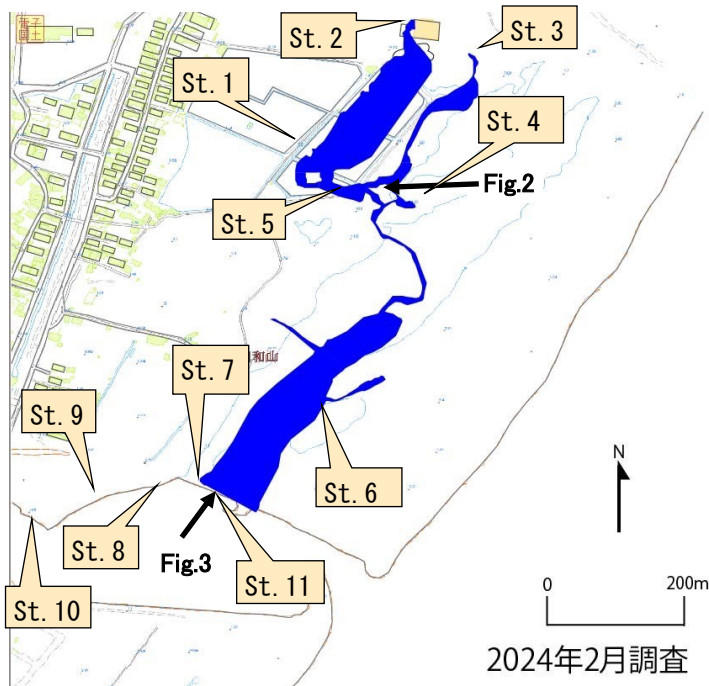


Fig.1 2024/2/20 採水点

Table.1 2024. 2月 塩分濃度(%)

採水点	2024 2/20	2024 2/3	増減	2023 2/22	増減
St. 1	0.7	0.6	0.1	2.9	-2.2
St. 2	0.6	1.0	-0.4	2.0	-1.4
St. 3	1.5	1.0	0.5	1.7	-0.3
St. 4	1.7	1.4	0.3	2.6	-0.9
St. 5	0.9	0.8	0.1	2.9	-2.0
St. 6	2.5	2.2	0.3	3.2	-0.7
St. 7	2.6	3.1	-0.5	3.3	-0.7
St. 8	2.6	3.2	-0.6		-
St. 9	2.2	-	-	3.3	-1.2
St. 10	1.9	1.7	0.2	1.8	0.1
St. 11	2.6	3.0	-0.5	3.3	-0.7

※ 汽水基準値(0.05~3.0%)



Fig.2 北側潟湖の南端部(St.5付近)



Fig.3 導流堤から河口に水が流れる様子

調査日時：2024年2月20日(火) 13:00~14:30 (満潮 11:05 潮位 120cm)，天気：くもり

満潮後の時間帯での調査。Fig.1に示す採水点St.1~St.11を対象に塩分濃度の測定を行った。塩分濃度の測定については前月までと同じ方法で行った(過去レポート参照)。それぞれの結果を2024.2月塩分濃度(%)としてTable.1に記載し、前回までの調査(2024.1月, 2023.2月)結果と比較した。

潟湖全体の水量は非常に少なく、湖底が現れている部分が多く見られた(Fig.2)。また満潮後のため、潟湖内から河口に向けて、さらに水の流出を確認した(Fig.3)。全体の水量は少なかったが、最北端部のSt.3や南東潟湖接続部のSt.6は、十分な水量を保っていた。塩分濃度は、南側潟湖(St.6, 7)は、河口とほぼ同様の値を示した。北側潟湖は、南側よりも低い値で安定している。昨年との値と比較すると、河川に最も近いSt.10以外のポイントすべてで、低い値を示した。

(沼尾和弥)